

令和7年度 抵抗性クロマツ植栽で「夕日の松原」保全協働活動

実施要領

1 目的

秋田市飯島から潟上市天王まで延長 14km にわたって広がる海岸松林（面積 871ha）は、平成13年の公募により愛称を「夕日の松原」に決定し、地域住民の方と共にその機能保全に努めてきました。

しかし、近年は夏季の高温少雨の影響で松くい虫被害が急増し、松林の持つ飛砂防止や防風などの機能が著しく低下している箇所も見られ、早急な対策が必要となっています。

このようなことから、「夕日の松原」の機能保全・回復を目指し、地域の関係機関と協働で「マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ」を植栽するとともに、海岸松林の重要性について理解を深めていただきます。

2 主催

秋田県秋田地域振興局農林部森づくり推進課

3 日時

令和7年10月25日（土） 雨天決行

[当日のスケジュール]

午前 9:00～	受付（秋田マリーナ 飯島サンセットパークに集合）
9:30～	開始式（あいさつ・手順説明）
9:45～	各クロマツ植栽活動の実施エリアに移動
10:00～	クロマツ植栽活動開始
11:30	解散（参加者は遅くとも12時00頃までには植栽終了）

4 参加団体・企業等（順不同）

（株）秋田銀行、秋田プライウッド（株）、秋田製錬（株）飯島製錬所、JA全農あきた、フィロスあきた、（株）A-WIND ENERGY 等からの市民ボランティアほか 地域住民、森林保全巡視指導員、秋田市、秋田県秋田地域振興局農林部 参加予定人数 約300人を予定

5 実施範囲

秋田市飯島字古道下川端付近の海岸側の松林
（面積 約2,500㎡）

6 実施方法

①植栽に必要な機材等（スコップ、軍手）は県で準備する。

②クロマツ植栽について

抵抗性クロマツ1,000本を指定された範囲に植栽する。

植栽方法は、現地で森づくり推進課職員が指導する。

③台風等の荒天や警報が発令された場合は、前日の正午時点で対応を決定し、実行の可否について関係者に連絡する。但し、その後台風の発生や警報の発令等があったときは別途対応する。

7 その他

その他上記以外の事項については、関係者と協議して決定する。

8 備考

クロマツ植栽で「夕日の松原」保全協働活動の一環として、以下の活動も実施する。

1) 秋田林業大学校1年生によるクロマツ植栽活動

・秋田林業大学校1年生のカリキュラムの一環として、夕日の松原でクロマツの植樹実習を実施する。

実施日：令和7年10月23日（木） 9：00～ 植栽本数500本

2) 金足西小学校によるクロマツ植栽活動

・金足西小学校の5年生17人が生徒が森林環境学習活動の一環として学校でクロマツの苗を6月からプランターで育成しており、成長したクロマツを夕日の松原に植樹する。

実施日：令和7年10月30日（木） 13：30～ 植栽本数 20本